

處に居を構へ往復すると云ふ秋紅葉の眺め亦一層趣味多し

紫露洞 松嶽山麓にあり幽邃にして溪流清く勝景の地なり

扶山洞 紫霞洞の西にあり怪巖古木頗る雅にして又妙なり

彩霞洞 松嶽山東麓にあり閑靜にして泉石奇又明洞の南に樂豐臺あり

春夏遊覽の人絶へず土地の富豪等岩石に姓名を刻み之れを浮世に傳ふるを以て得意とせしは往昔一般の風俗なりと云ふ

滿月臺 松嶽山麓にあり高麗王宮の遺趾なり今は只廢臺を残すのみ

善竹橋 驛を距る約十五丁大廟里にあり全部石造にして高麗末世の忠臣鄭夢周が刺客の爲め刺されし所なり今尙ほ橋上に血痕存すと傳ふ

后李朝の時橋西に碑を建て閣を作り以て靈を慰めしと云ふ

敬德宮 驛を距る十七丁林洞にあり李朝太祖の潜邸なり後改めて宮殿となす今は僅かに其殘礎の存するのみ周圍塙を繞らし中に御筆碑あり其文字に曰ふ

敬德宮丕啓靈慶之碑



杜門洞 府城の西方一里半にあり高麗朝の遺臣曹義生林先味等七十二人洞中に逃入し李家の化に従ふを肯せず遂に死すと云ふ后李朝太祖之れを壯とし碑を建て其靈魂を祭れり

滿月臺 驛を距る約二十丁松岳山の下にあり高麗王宮の舊跡なり今は只廢臺を存するのみ

鄭夢周邸 東部面にある山松陽書院是れなり鄭の畫像其他杖衣裳及筆蹟等を藏す

南門樓 市の中央南大門上にあり李朝太祖二年築城の際之れを建つ又樓西に鐘閣あり

觀德亭君子亭 驛を距る十六丁共に子男山にあり四望展開開城全市を望見するを得べし何れも高麗時代高貴の遊覽所にして又弓術練習の所たり

高麗太祖順陵 府城の西北一里半巴良洞にあり高麗歴代の陵概ね此附近に点在す

華嚴寺 高麗王朝の初め西域の僧指空和尚の開基に係る名利にして府の東北四里長湍郡松西面にあり今尙は伽藍を存するも廢頽舊觀を有せず

成均館 府城の東方三里松岳山の東麓にあり高麗恭愍王の十六年之を設立す孔孟以下諸賢の位牌を安置し學神として尊信高し

關帝廟 府城の北方十町松岳山南麓にあり開國五百年の創設に係り關羽の像を祀る軍神として崇拜高し

穆清殿 府城の東半里にあり李朝太祖の舊邸なり太祖の御容を奉安するところにして殿宇莊嚴たり

壽昌宮 李祖太祖大王即位の場所たり今は郡衙に使用す

不朝峴 敬德宮前にあり李太祖即位の時敬德宮に親臨して科を設く高麗遺臣一として入場するものなく皆峴を踰へて去る故に此名なり

太平館 西小門外にあり關牌を奉藏す

△教育宗教商工業狀況概畧



○教育

学校の數十一在籍生徒千五百餘を算するも、登校生徒は六百乃至七百を出でざるべしと科目は修身算術國語漢文日語体操圖畫理科地理歴史等を授くるを普通とするも其内實に至りては必ずしも一定せずと云ふ

○宗教

韓國宗教として古來行はれたるものは佛教にして高麗太祖大に佛を信じ禪教を創め寺院を建つ然れども漸次展轉變化し今は只其形體の存するに過ぎず

○商工業

一箇年の收入額は約七拾萬圓にして其内二十五萬圓は常市内外にて消費し残り四十五萬圓は十里以内の各郡へ移れり其商ひ高を日韓人に大判



四小門

○風俗中特異とするもの

- 一、一月上旬無賴の徒群集し隊を分ち石合戦にて勝負を決し一年の吉兇を占ふ
- 二、一月十五日兒童男女炬火を持ち歩き一年の福を祈る
- 三、四月八日釋迦生日燈を長竿に懸け之れを高地又は山上に植つ
- 四、五月五日女兒盛粧し敬徳宮に集合し鞆の遊技をなす美観言ふべからず
- 五、六月十五日河流又は瀑布に沐髪して不淨を驅除し會飲す
- 六、七月十五日酒食を設けて亡魂を招く是れ即ち千聞盆會の古風なり

○官衙會社

- 都衙
- 郵便電信局
- 警務顧問水原支部開城分遣所
- 憲兵分遣所
- 稅務署
- 第一銀行支店
- 種藝會社
- 警察分署
- 日本居留民團役所
- 財政顧問分署
- 開城支金庫
- 參政課
- 漢湖農工銀行支店
- 大韓天一銀行支店



○合名會社開通社

●旅館 開和館、大和屋旅館

△交通 人力車 停車場と府城南大門間金貳拾五錢 雨天五割増し

●開橋街道 驛を距る一哩にあり延長一・二八八呎

土城驛 (從龍山五二哩一〇頃)

開城郡中西面にあり五百の民家敷箇所に散在す驛前に煉瓦製造所あり碧瀾渡は驛より三哩七八饋禮成江の右岸にありて仁川方面の間に舟楫の便あり軍用鐵道建設の當初土城碧瀾渡間に支線を設け揚陸鐵道材料輸送の便に充てたる處なり

○勝地

高麗王墳墓 驛の東北一里半樹木鬱蒼頗る風光に富むを以て其名著し土城 驛の西北數丁に在る小丘是れなり繞らすに土塙を以てし松樹繁

茂す文祿の役加藤清正冬營の地と云ふ

●乾川鐵道橋梁 驛を距る三哩七〇頃にあり延長一〇〇呎

鷄井驛 (從龍山六一哩七頃)

金川郡東面にあり地勢平坦阜丘多し

○勝地

春石關 驛を距る東南約二十丁にあり其畿道黃海道との境界にして韓

國守備隊駐屯の關所なりしも今は只石門あるのみ

●長位川鐵道橋梁 驛を距る七哩二〇頃にあり延長一八〇呎

岑城驛 (從龍山六八哩七〇頃)

金川郡内面にあり禿山周圍を繞らしたる寒村に過ぎざれども間々青綠滴るが如き松林繁茂し人目を悦ばしむるものあり



○合名会社開通社

●旅館 開和館 大和屋旅館

△交通 人力車 停車場 府城南大門間金瓦拾五錢 雨天玉割増し

●開城堅道 驛を距る一哩にあり延長一八八呎

土城驛 (從龍山五二哩一〇頃)

開城郡中西面にあり五百の民家散簡所に散在す驛前に煉瓦製造所あり碧瀾渡は驛より三哩七八鎖禮成江の右岸にありて仁川方面の間に舟楫の便あり軍用鐵道建設の當初土城碧瀾渡間に支線を設け揚陸鐵道材料輸送の便に充てたる處なり

○勝地

高麗王墳墓 驛の東北一里半樹木鬱蒼頗る風光に富むを以て其名著し土城 驛の西北數丁に在る小丘是れなり繞らずに土牆を以てし松樹繁

茂す文祿の役加藤清正冬營の地と云ふ

●乾川鐵道橋梁 驛を距る三哩七〇頃にあり延長一〇〇呎

鷄井驛 (從龍山六一哩七頃)

金川郡東面にあり地勢平坦阜丘多し

○勝地

春石關 驛を距る東南約二十丁にあり京畿道黃海道との境界にして韓

國守備隊駐屯の關所なりしも今は只石門あるのみ

●長位川鐵道橋梁 驛を距る七哩二〇頃にあり延長一八〇呎

岑城驛 (從龍山六八哩七〇頃)

金川郡内面にあり禿山周圍を繞らしたる寒村に過ぎざれども間々青綠滴るが如き松林繁茂し人目を悦ばしむるものあり



○勝地

岑城躑躅<sup>△</sup> 驛の周圍滿山躑躅にして自然に見上げたる好景の華麗錦繡に等しきものあり雅人墨客の清遊地たり

驛の西南約五丁に龍津江長位川の合流点あり沿岸奇岩聳立し清雅幽邃の地たり又夏季遊漁の地にして鮎鱒等多し

温井院温泉<sup>△</sup> 驛の西南約六里にあり天然の鍍泉にして皮膚病及花柳病に効ありと云ふ

金陵館<sup>△</sup> 驛の東南約十丁にあり丙辰年の創設なりと云ふ年々清國より特禮大使参拜せしも日清戦役後之を廢止せりと云ふ

忠烈峴<sup>△</sup> 驛の西南約十五丁にあり丙子の年清國より貢献を詰りし際之れに反抗し戦ひ死せし忠士の爲め祠を建立せしものなりと云ふも今は僅に残盛あるのみ

舞臺山<sup>△</sup> 驛の南方約十丁にあり山頂に五井あり毎年陰曆五月五日近郷

の士等登山し井水の増減を見其年の風位をとすと云ふ

龍津江鐵道橋梁<sup>●●●●●</sup> 驛を距る五哩三〇鎮にあり延長一〇一一呎

汗浦驛 (從龍山七四哩七二鎮)

平山郡金岩面にあり

平山邑は驛を距る約三十丁郡衙所在地にして郵便取扱所警察署憲兵分遣所財務署等あり郡内唯一なる繁華にして人馬絡繹たり

○勝地

龍津江<sup>△</sup> 驛の西方約十丁に在り白砂碧流數里に亘り綠草江邊を繞らしたる間風雅なる水車は流れに添ふて回旋す蓋し韓國鐵道沿線中稀れに見る所なり旅客は車中より此風光に接することを得べし

太白山城趾<sup>△</sup> 驛を距る約一里平山郡平山邑にあり繞らすに周圍一萬二千三十尺の石壁を以てす東蜿蜒長蛇の如き龍津江の清流を望み西北



遠く平野を瞰制し最も要害の地なり高麗朝の築造に係り難攻不落の天嶮と誇りしも壬辰の役日本の先鋒小西行長の爲めに攻陥せられし所なりと云ふ

### 南川驛 (從龍山八三哩四〇鎖)

平山郡上龍岩面に在り地勢山岳多く所謂山間の僻地なり然れども秋季滿山の栢樹紅葉を爲すの時に當つては一段の趣味あり此附近多くの薪炭を出す其産額亦多し

第三南川鐵道橋梁 驛を距る二哩にあり延長二六二呎

慈秀洞壁道 驛を距る三哩にあり延長三二一呎

第四南川鐵道橋梁 驛を距る三哩四〇鎖にあり延長一七一呎

### 物開驛 (從龍山八八哩七九鎖)

平山郡安城面にあり附近丘陵を以て圍繞せられたる寂寥たる寒村なり

雙橋川鐵道橋梁 驛を距る五〇鎖にあり延長一四〇呎  
車陰嶺壁道 驛を距る四哩四〇鎖にあり延長一二〇〇呎

### 新幕驛 (從龍山九五哩三九鎖)

瑞興郡禾回坊に在り土地肥沃農産豐饒の地なり附近に産する五穀薪炭は皆此地に集り更に鐵道便を以つて各地に散す

●旅館 石川旅館 新幕旅館

坪松川鐵道橋梁 驛を距る三五鎖にあり延長一二〇呎

### 瑞興驛 (從龍山一〇〇哩四七鎖)

瑞興郡中部坊に在り瑞興邑を離るゝ十丁餘郡衙所在地にして戸數八百山を負ひ川に臨み土地高燥風景又雅なり瑞興與水間の線路は瑞興川を横斷すること數回山間の碧流出ては没し没しては亦出で碧潭たる深淵は其深さを知らしめず眞に不思議の曲川なりと云ふべし又丘阜脈には



奇岩多く山腰の韓屋散在する間樹木林立風致多し

興水院壁道 驛を距る九哩一九鎮にあり延長五五七呎

興水院川鐵道橋梁 驛を距る九哩七二鎮にあり延長三〇〇呎

○官衙

○郡衙

○守備隊本部

○日本病院

○警察署

○小學校

興水驛

(從龍山一〇八哩七二鎮)

鳳山郡龜淵坊にあり瑞興鳳山兩郡の境界に位し農産物集散地にして商業共に發達す

○勝地

歸眞寺 驛を距る東南三里瑞興郡栗里坊にあり往昔高麗滅亡の際同王の一時避難せられたる所にして古廟古墳等數多あり

劔水川鐵道橋梁 驛を距る三哩五八鎮にあり延長二〇〇呎  
花溪川鐵道橋梁 驛を距る四哩四鎮にあり延長一二〇呎

清溪驛

(從龍山一一三哩六七鎮)

鳳山郡龜淵坊に在り此地西南一面山を以つて蔽はれ東北廣く沃野に連なる

山水院川鐵道橋梁 驛を距る一哩二八鎮にあり延長二〇〇呎

馬洞驛

(從龍山一一八哩一七鎮)

鳳山郡土城坊に在り東北遙に連亘たる丘阜に依つて蔽はれ西北廣漠たる田野の延々として際限なし附近に於ける山丘の多くは禿山にして間々松樹林立翠綠滴る如きものあり

第一鳳山川鐵道橋梁 驛を距る一哩七二鎮にあり延長二〇〇呎

沙里院驛

(從龍山一二四哩三二鎮)



鳳山郡沙院坊に在り黃海道著名の農産地にして西南北一望際界なく水易河は其西北を流れ所謂四通八達之地なり毎月陰曆五十の日市場を開き一市の賣買約一萬圓黃海道中有數の市場なり水易村は水易河畔にあり軍用鐵道敷設の當時當驛より同村に至る支線を設け鐵道材料を揚陸せし地にして運河の便最も可なり農産貨物の多くは瀛車便に依つては京城方面船便に依つては兼二浦及鎮南浦に搬出す水易河に添て左の五浦あり共に農産地となす

- △右灘浦 鳳山郡臥峴坊に在り 驛の南貳里
- △鐵路浦 同 郡四湖坊に在り 驛の西南一里
- △禾易浦 同 郡靈泉坊に在り 驛の四一里
- △石海浦 同 郡萬泉坊に在り 驛の四一里半
- △唐浦 同 郡舍人坊に在り 驛の西北一里半

○勝地

景岩寺 驛の南方十五丁景岩山の山腹にあり奇岩絶壁を以て圍繞し堂宇の後方に一井あり銀水と稱し土人は之れを藥水なりと呼ぶ不淨の身を以て掬水せば忽ち濁水に變すと云ふ山嶺の眺望頗る佳なり

鳳山 驛の東二里にあり郡衙所在地にして義州街道に沿ひ四面山を以て圍繞し鳳山川に臨み風景雅なり

鞍寧 驛を距る四里にあり鐵鑛の産出地にして郡衙の所在地なり戸數八百を有す

僧川 海州街道に沿ひ戸數三百五十稍々繁華殊に温泉場を以て知らる浴槽其他の設備に至ては不完全なるも其効顯に至りては醫藥以上なりと云ふ韓人旅宿二三あり

- 農工銀行
- 郵便取扱所
- 興業會社事務所
- 憲兵分遣所
- 旅館料理店 備後屋(料理)
- 沙洞川鐵道橋梁 驛を距る二哩六五銀にあり延長一三〇呎
- 鳳山館 博多屋料理兼業



沈村驛

(從龍山一三二哩七九哩)

黃州郡青龍坊にあり附近丘陵多く土地又荒寥たり

○勝地

正方山 驛の東南に聳立する峻峯即ち是れなり山は環状をなし西方に開口せる狭谷を圍繞す山嶺に城廓あり正方山城是れなり又谷底に古刹あり年代を詳かにせずと雖ども往昔の名残りを止む半ば破碎の城壁及西方樓と稱する城門あり門内に成佛寺圓通菴安國寺上院菴の四大刹あり何れも構造莊嚴華麗なり安置せる佛像五百羅漢は共に彩粉の金銀剝落頗る古色を帶ぶ又西方の坂路七八丁の所に杏栗梨桃等生苔の生ずる老樹林をなし林中の小溪及佛池と稱する泉池は數箇所にあり四時清水滾々として流る附近の老樹奇石怪石峭壁と相對し頗る幽邃を極む夏季遠地より杖を曳くもの多し

第一黃州川鐵道橋梁 驛を距る四哩七四銀にあり延長三三〇呎  
第二黃州川鐵道橋梁 驛を距る五哩二八銀にあり延長四八〇呎

黃州驛

(從兼二浦八哩六三銀  
從龍山一三九哩二七銀)

黃州郡南坊に在り兼二浦線の分岐點にして平壤と兼二浦間には直通列車あるも其他の列車により兼二浦に往復せらるる旅客は此驛にて乗換をなすべし附近一帶廣濶なる田野にして黃海道に於ける農産物集散地たり驛の東南約一里に黃邑州あり黃州川其麓を流る

○勝地

黃州川 水清く流れ靜にして夏期納涼に適す  
黃州城 黃州邑にあり千餘年前の築造に係り其土工の將に竣らんとするや工費缺乏して中止せんとせしに一寡婦の私金を投ずるありて僅に成功せし者なりと云ふ城内に月波樓あり眺望絶佳月を以て名あり  
○官衙 會社



○郡街

○守備隊

○稅務署

○韓國興業株式会社

○旅館 益湖旅館 岡旅館料理兼業

後江川鐵道橋梁

驛を距る四四鎮にあり延長一二〇呎

白石川鐵道橋梁

驛を距る四哩三九鎮にあり延長六〇呎

### 兼二浦驛

(從黃州八哩六三鎮)

黃海道黃州郡松林坊に在り大同江の左岸にして二十七八年の戰役野津師團の渡河點として有名なる旗津浦の對岸十二浦の一部なり港内水深く優に五千噸以上の汽船を碇泊せしむるを得べし軍用鐵道起工の當初材料揚陸の爲め支線を設け且鐵道工場を置かれし地にして本邦人の移住するもの多く一時非常の繁盛を極めたり下流鎮南浦を距る十八哩冬季一月及二月は流水のため航路杜絶するも陽春三月よりは定期航海ありて僅に二時間半を以つて達し平壤間の直通列車に接續す港は陸軍工兵中佐渡邊兼二氏の發見せし所なるを以て兼二浦と名づく驛前の丘陵

に十二師團工兵隊の設立に係る開港紀念碑あり

### 黒橋驛

(從龍山一四六哩六〇鎮)

黃州郡高井坊にあり京義沿線中著名なる穀產地黃州中和の中間に位し共に農産地なり

中和驛道

驛を距る一哩三八鎮にあり延長一三八六呎

### 中和驛

(從龍山一五〇哩七六鎮)

中和郡下道坊に在り廣寬たる平野にして畑地多し中和邑は驛の東北數丁の山麓にあり居民中兩班ありて瓦家多く自ら富裕の狀あり

### ○勝地

朱泉亭 驛の東南一里に在り日清戰役の際町口歩兵中尉竹内騎兵少尉敵情偵察中清兵の爲めに捕へられ慘殺せられたる所にして兩氏の碑あり



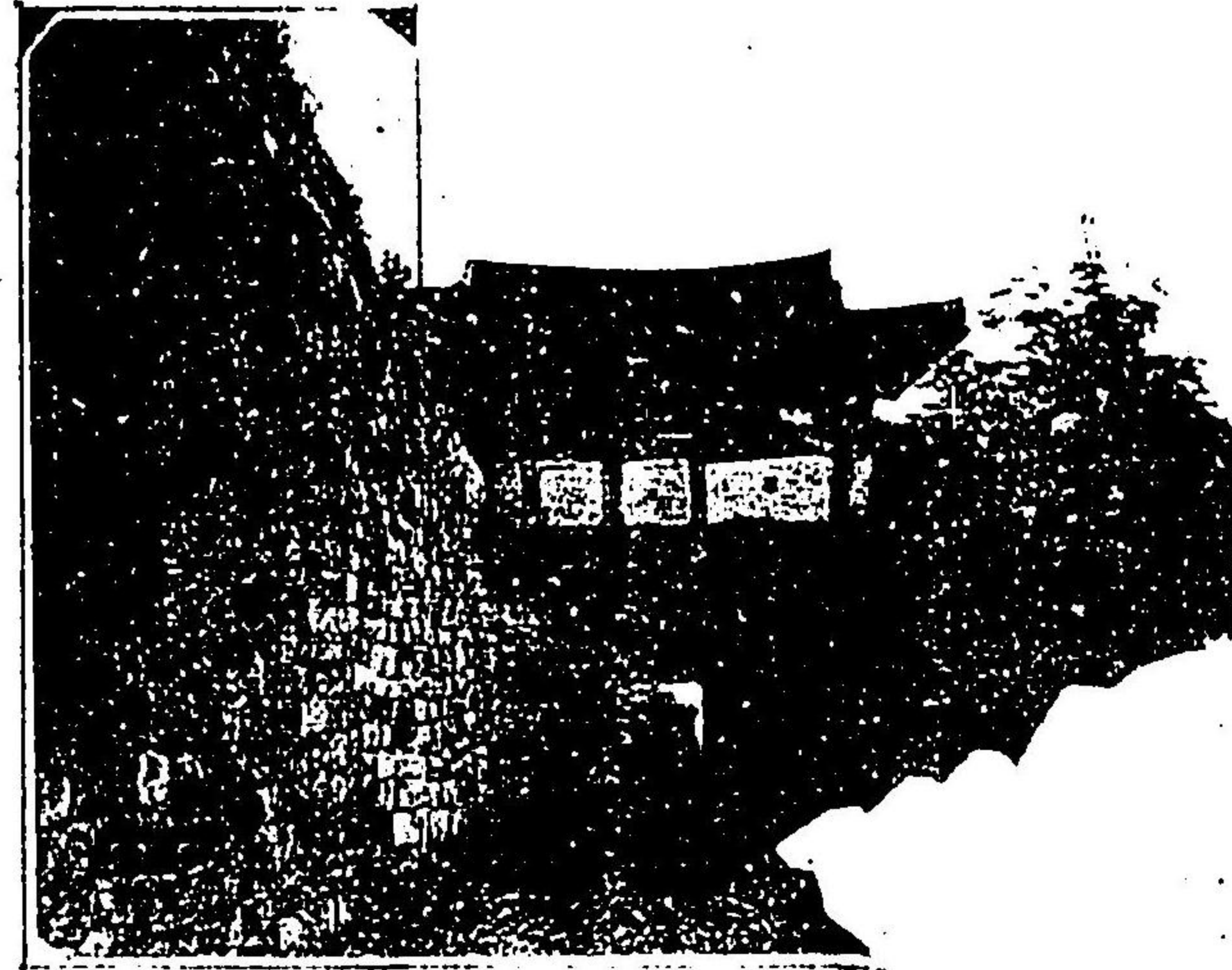
黒洞 驛の東北約廿五丁上中和  
に屬し孔子廟及桃園あり附近  
一帶風致に富み園内點々梨樹  
を交へ花季最も美觀を呈す此  
地名の漸く世に傳はるに隨ひ  
杖を曳くもの多し

眞泉 驛の西南約二里に在り山  
中の冷泉にして靈驗あり爲め  
に韓人の來浴する者頗る多し  
○官衙

○郡衙 ○郵便取扱所

○平壤警察駐在署

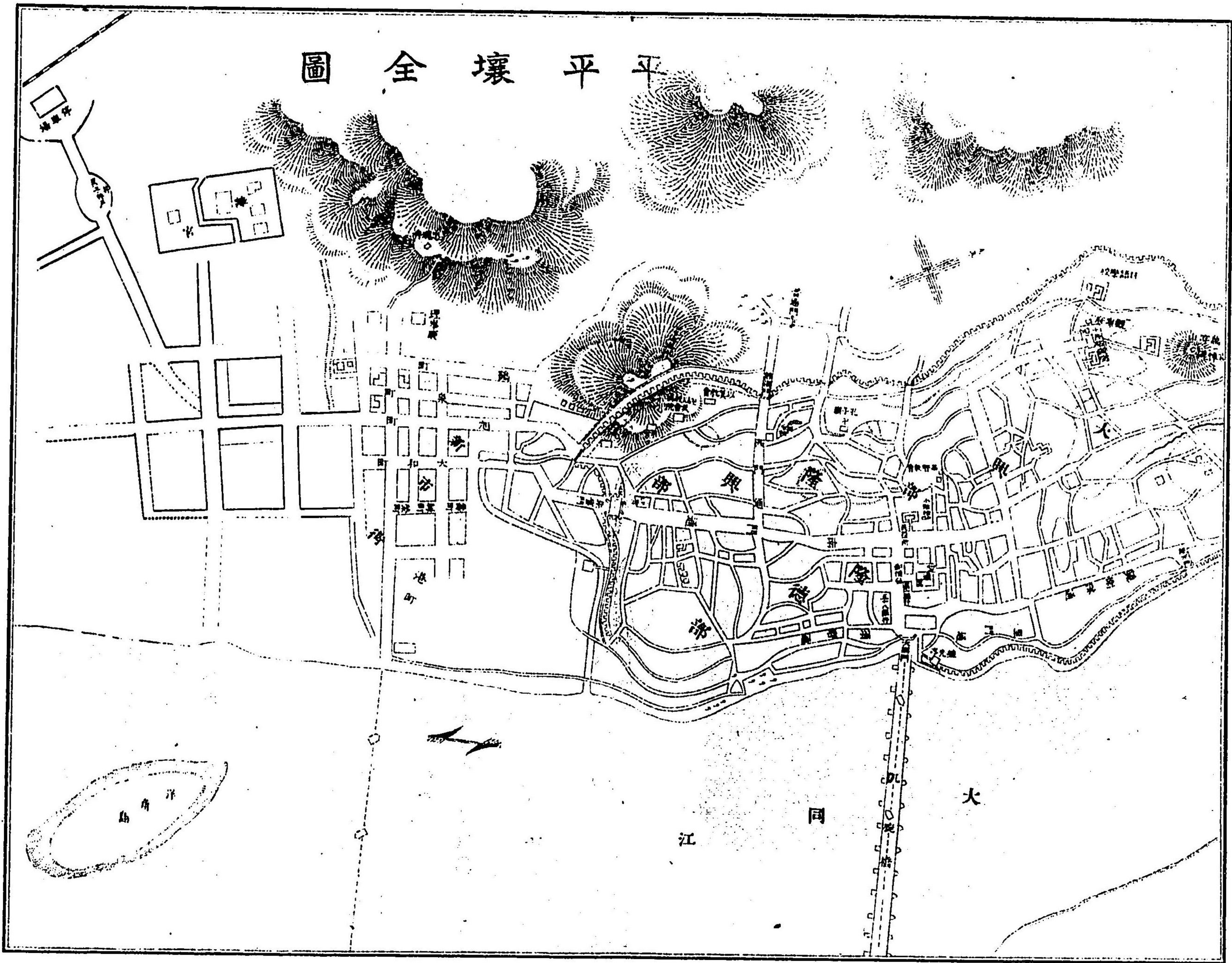
万里江鐵道橋梁 驛を距る二哩二二鎮に  
あり延長二四〇呎



平壤七里門

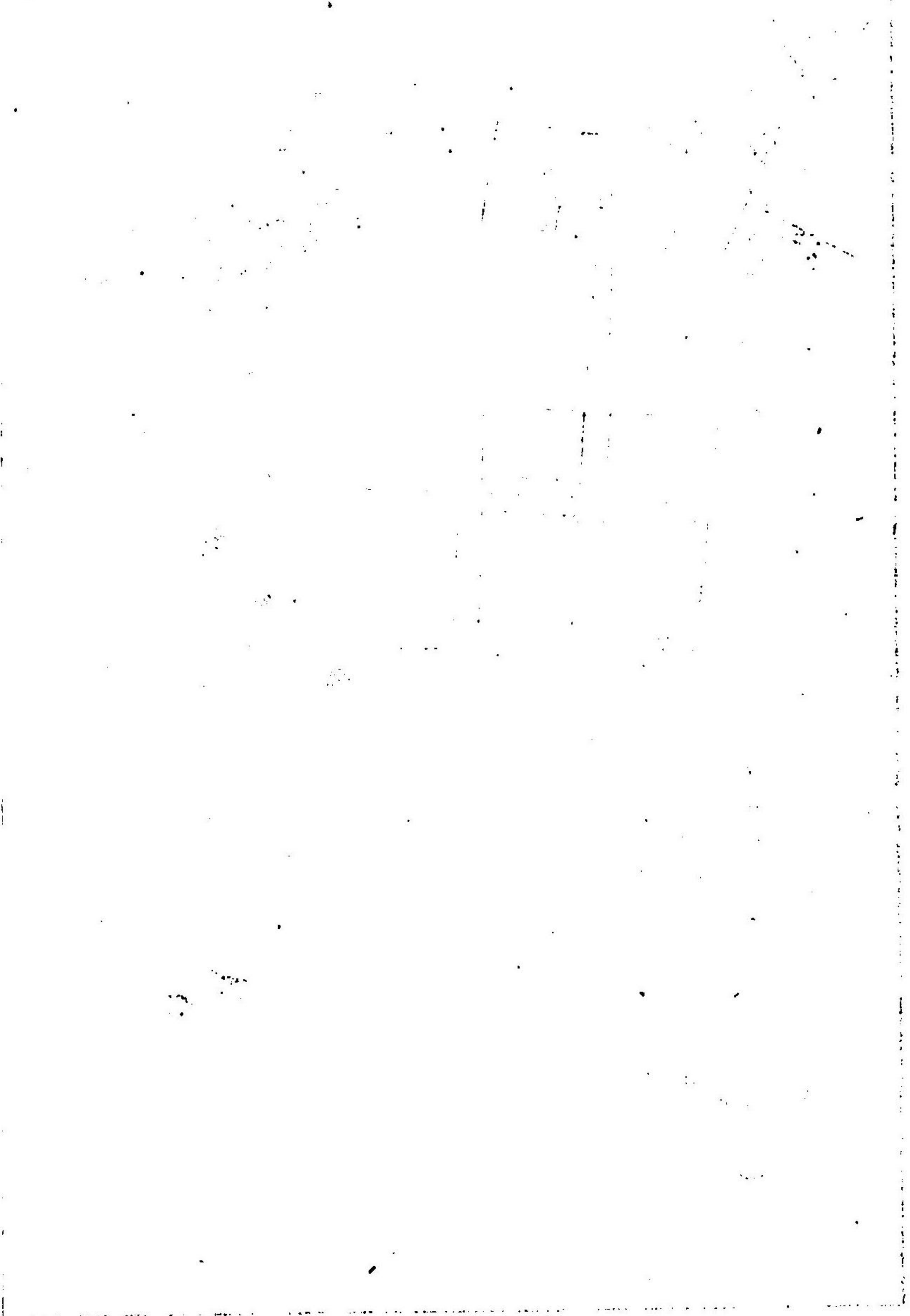


平壤全圖





平壤全圖



力浦驛

(從龍山一五五哩三六銀)

平壤郡龍淵坊にあり驛を距る數丁にして大同江に達す鐵道橋は羊角島に依つて第一第二の二部に別たる附近に大なる煉瓦製造所あり

- 永濟江鐵道橋
- 第一大同江鐵道橋
- 第二大同江鐵道橋
- 驛を距る四哩五四銀にあり延長六〇呎
- 驛を距る五哩一八銀にあり延長一四四〇呎
- 驛を距る五哩五七銀にあり延長一三八〇呎

平壤驛

(從龍山一六一哩七八銀)

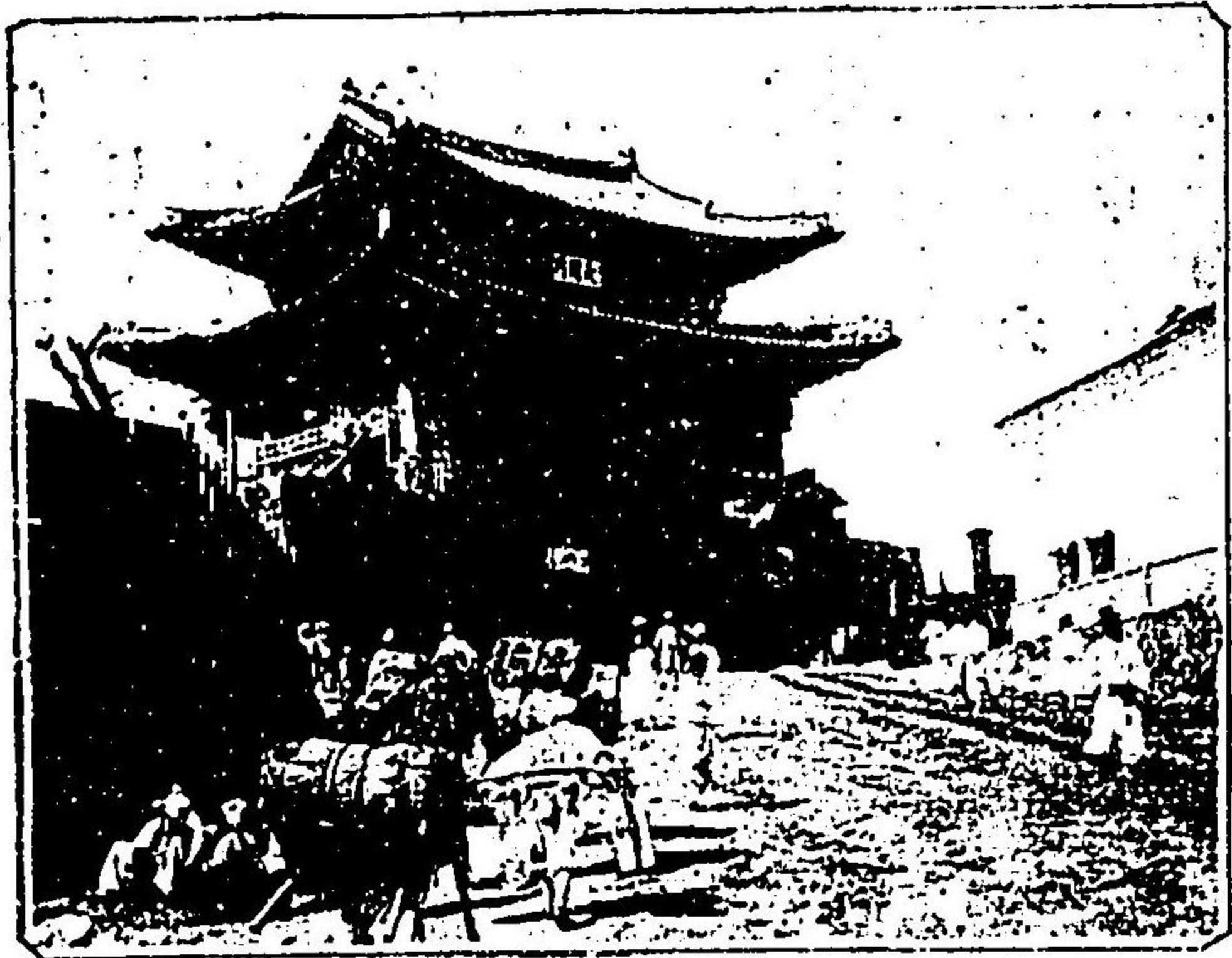
平壤新市街にあり京城義州間の中間に位し韓國の古都にして京城に亞ぐの大都會なり大同江の北岸に位し背に大城山を負ひ東南肥沃の平野を控へ江岸斷崖絶壁頗る要害の地にして自ら首府に適す市街を内城中城外城東北城の四區に區分し内城は周圍二里外廓を繞らし大同朱雀靜海七星の四門を設く朱雀門内部は舊市街にして外部は本邦人居留地と



し一般新市街と云へり朱雀門は明治四十年道路擴張の爲め破壊し今は跡影なし  
 往昔箕子及高句麗の都にして高麗王朝の時代には之を西京と稱せりと云ふ文祿の役小西行長此城に據り李如松と戦ひ近く日清戦役には我軍包圍攻撃をなし清の守兵を撃退す其牡丹臺乙密臺等は當時兩軍の血戦場たり又三十七八年戦役の陸上第一戦は七星門外に於て始めて兵火を交へし所なるを以つて其名著し

○勝地

大同江 驛を距る約三十丁にあり水深く流れ清く其流域七十有餘里韓國五大江の一に居り黃海斜面の肝要なる大流にして古來歴史上顯著なる平壤を抱き平安黃海兩道に跨り水運の便灌溉の利を與ふるもの尠らず殊に江水良質一般飲用に供す  
 大同門 驛を距る約三十丁にあり内城の東門にして大同江畔に屹立し



丹碧燦爛たる三層樓門にして頗る壯觀なり  
 練光亭 驛を距る三十丁大同江岸徳岸の上にあり文祿の役小西行長清將と和を講じたる所なり眺望頗る佳し  
 大同館 内城鐘路にあり往昔清使等の客館に當てたるものなりと云ふ構造頗る宏壯なり  
 船橋里 平壤市の前面大同江の東岸にあり廿七八年戦役平壤包圍攻撃に際し大島混成旅團の奮戦苦闘の陣趾なり近く伊藤統監の建設せられたる碑は



屹然として舊趾に發ゆ  
 牡丹臺一名牡丹峯と稱す 内城の西北  
 に在り最高の地點にして其下に玄武  
 門あり日清戦役に於ける著名の古戦  
 場なり

乙密臺 牡丹臺と相對し眺望絶佳臺上  
 今尙一亭を存す四虛亭と稱す建築古  
 雅亦見るべき者あり牡丹臺攻撃の好  
 紀念として之に無數の彈痕を止りり  
 浮碧樓 牡丹乙密兩臺の間谿谷幽邃の  
 所に在り古代の建築雅趣多し樓前懸  
 崖の下大同江の清流滔々として漲り  
 江中島あり綾羅島と稱す對岸の平野  
 は即ち大古箕子井田の法を布きたる



牡丹臺



所なりと云ふ遠く諸山を望み峰巒  
 島嶼絶壁清流一眸の中に收まる眞  
 に天下の絶勝にして韓人の誇稱す  
 るも亦宜なりと云ふべし  
 箕子陵 乙密臺下の西丘にあり丘は  
 兎山と稱す丹碧の殿堂老松蒼鬱の  
 間に隠見し景致頗る佳なり  
 樓臺宮(通稱離宮) 驛前に在り韓國帝  
 室の離宮にして箕子井田の舊趾に  
 築くと云ふ近代の建築にして工事  
 未だ竣成せずと雖も構造宏大なり  
 京義線創設紀念碑 驛前に在り突如  
 として屹立せるもの即ち之なり二  
 丈餘の花崗石を以て之れを作り基



礎より約三丈の高さにあり鐵道車輛具を巧みに利用し周圍の柵垣と

なす

箕子の井 驛前京義線創設紀念碑構内にあり

萬景嶽 平壤を距る約三里大同江の下流にあり水深く如何なる大船巨船をも繫留するを得二十七八年戦役に於て立見將軍上陸地として知らる又三十七八年戦役に於て軍用鐵道起工の當初鐵道材料揚陸地となれり是より上流平壤に至るには吃水八呎以下の船にあらざれば航通することを得ず大同江水運の難所と云ふべし

△永明寺春僧

△浮岩玩月

△乙密賞春

△馬灘春潮

△蓮堂聽雨

△東門泛舟

△龍山晚翠

△普通送客

鎮南浦 北韓唯一の良港にして平壤を距る陸路十五里大同江の下流に

在り港内水深く大船巨船の碇繋に適す平壤より大同江に依り江上約四十浬間汽船便の交通ありと雖も順潮によつて航行せざるべからざる爲め發着時間一定せず且長時間を要するを以て韓國内地との來往には兼二浦にて船車連絡の方法に依るを便とす殊に平壤兼二浦間には朝夕直通列車あり船車を通じて約四時間にて達するを得べし附近商業上の區域頗る宏大にして大同江一帯の地より産出する米穀類の集散地たり今や日本人戸數七百六十、人口三千を有し其貿易額の如きは一箇年優に三百七十萬圓に上ると云ふ釜山仁川に次ぐの貿易港なり清國及日本内地との間頻繁なる汽船の往復により北韓平壤地方一帯に於ける物資は一に同港を経由す輸入の重なるものは雜貨輸出は穀類とす居留地は家屋連楹櫛比宛然日本の一小都會たり理事廳あり警察署あり守備隊、民間役所、小學校あり通信としては郵便局あり郵便爲替電信電話(平壤との長距離電話貯金小包其他總ての事務を取扱ひ金融としては第一五十八の二銀行支店あり其他劇場旅館料理店等あり



り近く平南鐵道は起工せらるると云ふ而して鐵道開通の曉は平壤との交通を容易ならしむるのみならず自ら海陸兩途の便を開き將來の發展期して待つべきなり

○官衙

- 平壤理事廳
- 廿六旅團司令部
- 憲兵分隊
- 日本居留民團役所
- 公立仁同病院
- (以上日本)
- 平安南道觀察府
- 平壤警察署
- 財務署
- 水道事務所
- 農商工部樹苗養成所
- 平壤郵便局
- 第五十二聯隊本部
- 第一韓國駐劄病院
- 尋常高等小學校
- 商業會議所
- 平壤郡衙
- 財務監督局
- 鑛業所
- 保稅貨物取扱所
- 測候所

○官立日語學校

○公立平壤普通校

(以上韓國)

●旅館 三根旅館 櫻屋旅館 臨江ホテル 松岡旅館 明治旅館 二見旅館

中津旅館 フランスホテル 北辰館

●料理店 七星館 大同館 日進館 平壤館 壽樓

△交通

△人力車賃金表

停車場より新市街迄	金四拾錢
同 舊市街迄	金六拾錢

但し夜間五錢増し夜間雨雪泥濘の際は五割増

△人車鐵道 (一車八人乗)

停車場より新市街(終點)迄 金拾貳錢

△通信

平壤郵便局ありて郵便、爲替電信電話(鎮南浦との長距離電話貯金小包其他總ての事務を取扱ふ



西浦驛

(從龍山一六八哩五六鎮)

平壤郡西川坊に在り

○勝地

望徳山 驛の東南約一里にあり西浦洞に發ゆるものは是れなり該山中腹の冷泉は妊娠中の婦人服用せば安産の効驗ありと雖も一週間餘身を潔め色肉を截ち殺生を禁じたるものにあらざれば用ひて腹痛の憂ありと云ふ

烽伍山 驛の西北約一里にあり山頂古松壽姿の下廿七八年戦役の際清

兵の壘臺となしたる古蹟あり

第一普通江鐵道橋梁 驛を距る五哩六四鎮にあり延長六〇〇呎

第二普通江鐵道橋梁 驛を距る七哩八鎮にあり延長五六〇呎

順安驛

(從龍山一七七哩五〇鎮)

順安郡郡内面にあり地勢平坦西北一望數十里に亘り土地肥沃なり二十七八年戦役には佐藤支隊元山より此地に來り平壤の背面攻撃をなせし著名の地なり此附近より砂金岩金を産す金坑二箇所あり一を赤岩里と云ひ驛の西方二里に在り一を盤松里と云ひ驛の東北四里二十丁にあり韓國に於ける砂金採取地として其名を知らる

○官衙

○警察駐在所

○郵便取扱所

○日語學校

龍三里川鐵道橋梁 驛を距る六哩二鎮にあり延長一一〇呎  
山城川鐵道橋梁 驛を距る六哩三六鎮にあり延長二〇〇呎

漁波驛

(從龍山一八七哩三鎮)



順安郡自徳面に在り寂寥たる僻地なり

漁波●陸道● 驛を距る七〇鎮にあり延長一七四〇呎

古川●鐵道●橋梁● 驛を距る五哩五五鎮にあり延長一二〇呎

肅川●江鐵道●橋梁● 驛を距る五哩七二鎮にあり延長二四〇呎

### 肅川驛

(從龍山一九四哩一五鎮)

肅川郡西部面に在り附近一帶廣突たる田野にして土地肥沃農産物多し此地は義州街道に沿ふ本郡中の最繁華なる處にして毎月陰歷三八の日を以て定期市場あり近郷より來集する白衣の韓人幾千人雄々緩々長煙管を手にし各自交易の物品を牛に負はせ或は脊に負ひ或は手にし廣濶なる田野幾數十の徑路を辿り連綿たり韓國名物として特記すべきものなり

### ○勝地

五龍洞△ 驛の西方約一里野廣き田圃の中にあり一條の流に沿ふて五六

樹娜々たる綠楊の下一戸の茅舎及一井あり、鑿泉を噴出す土人之を藥

水と稱し遠近より容器を携へ汲み來るもの多く藥用に供すと云ふ

神堂山△ 驛を距る東約一里に在り山腹に堂祠あり庭園奇石の間丈餘の

躑躅及黃梅の共に娟を争ふものあり其美一見の價値あり

堂山△ 驛を距る約八丁に在り頂上に桃林あり堂宇あり北は蜿蜒たる山

脈を負ひ南に肅川市街を瞰下し一條の鐵路汽車の駛走する狀眺望最

も佳なり又此所に於て毎年陰歷五月端午節祭典を執行す近郷より老

若男女の群集するもの夥し

### 萬城驛

(從龍山二〇〇哩三八鎮)

安州郡尻山面に在り邑は寂寥たる寒村にして附近丘陵多し

### 新安州驛

(從龍山二〇九哩四鎮)



安州郡西山口面に在り土地肥沃農産物豊饒の地なり此地停車場設置以來の新名稱にして安州城の西方に位す而して安州城には韓人口四千三百日本人百五十を有し總ての設備整へり三十七年五月日本軍の兵站部露騎の爲めに襲はれし所なり

新安州の北約半里に清川江あり大同江に次ぐ大河にして假橋を架すその長さ二千五百七十二呎又壹里餘にして大寧江あり同橋梁の長さ一千三百五十六呎此兩江は下流に於て相合し一水となる

### ○勝地

安州城(安州) 驛を距る約二里にあり此地平安南道及北道との境界に位置するを以て兩道を劃せる清川江を北に帶び東南には重疊たる山嶺を控へ昔時鐵道の便未だ開けざる間に於ては平壤、義州、元山、江界、雲山等に行通の要路にして従つて商業繁華の一都市なりしも日清の役起つて平壤陥落し清の潰兵來屯して掠奪を縱にするや韓人多く遁匿し

民家空しく兵燹に罹り茲に全く繁華昔日の影を失し今日稍々恢復の狀を呈せるも是れ城外の一部にして城内に至りては燒亡の跡徒らに雜草茸篠の茂るに委するのみ當年悲惨の歴史を語り一度此地を過ぐるもの躊躇低徊去るに忍びず

新安州より安州城に至るの道路は陸軍監部に於て開通せし新街道なるを以て韓國稀れに見る所のものたり若し安州城を此所より訪はんと欲せば車馬の便を借るよりも歩行遙かに勝るべし途中一里半許にして日女坂の舊蹟あり坂の半腹に至れば安州城は眸中に映じ其光景の雄大にして佳なる不覺人をして快哉を呼ばしむ此所に道路掘作紀念碑なるものあり碑文亦一讀の値あり

百祥樓(安州城) 城北の山上に在り樓は清川江に臨み古來韓國大臣宴遊の爲めに築きたるものなるを以て四時の眺望頗る佳一望豁然山川の風光呼へば將に應へんとするの感あり

日露戰役紀念碑(安州城) 城内に在り之を訪へば我忠勇の兵士が如何に



北韓の嚴冬と横暴なる強敵と奮闘せしかを想起せしむ

○官衙(安州城)

○韓國稅務署

○平壤警察分署

○普通學校

○公立安州小學校(日本)

●旅館料理店 梅屋旅館 三日月館料理兼業 南浦館料理兼業以上安州城

○郡衙

○守備隊

○安興學校

○日本人會役所

雲山金礦 驛を距る二十里に在り米國人の經營にして毎月第一銀行に

托し輸送する金塊箱入六七百斤にして價額四五十萬圓内外なり同礦

が如何に大規模に作業しつゝあるかを知るを得べし

△附近に於ける著名地及里程

●寧邊 八里理市廳農工銀行支店あり商業繁華の地として著し

●清川江鐵道橋梁 驛を距る一哩四四銀にあり延長二三八五呎

●大寧江鐵道橋梁 驛を距る五哩七五銀にあり延長一三五六呎

嶺 美 驛 (從龍山二一七哩三一銀)

平安北道嘉山郡南面に在り清川大寧兩江に沿ふて一望數里に亘り土地亦肥沃従つて農産物多し又礦質に富むを以つて探檢の爲め本邦人の來るもの殆んど絶へず嶺美雲田古邑驛は共に此江に沿ふて位置するを以て其眺望の雄大なる韓國沿線中稀れに見る所たり冬期結氷の候に至りては所謂水陸一帯千里の眺望とや云はん又解氷解に至つては自然に解け干潮に従ふて走る流水其凄狀云ふべからざるものあり

△附近に於ける著名地

●博川 驛を距る東北三里にあり平安北道屈指の商工業地にして韓人の聚商甚多し

●旅館 神田屋旅館

雲 田 驛 (從龍山二二五哩三八銀)

定州郡雲田面にあり背面遠く丘阜連り前面廣漠なる水田及荒地干潟に



して歩行易からざる所なり

○勝地

何日里浦 驛を距る數丁清川江大寧江の合流點にして税關監視署を置  
く左岸を下八里と云ひ鐵道橋梁の未だ完成せざるとき兩岸に鐵道線  
路を布設し鐵道材料の揚陸場に充て鐵道橋完成に至る迄小蒸汽船に  
より辛ふじて兩岸を連絡せし所なり平安道は此江に依りて南北二區  
に分ち清北清南の別稱あり

古邑驛

(從龍山二九二哩六九鎮)

定州郡古邑面に在り土地肥沃頗る農業に適す

五山堡道 驛を距る一哩四二鎮にあり延長四九五呎  
犬吠川鐵道橋梁 驛を距る三哩三六鎮にあり延長九〇呎

趙尼浦川鐵道橋梁 驛を距る四哩二九鎮に

あり延長一六〇呎

獐島川鐵道橋梁 驛を距る七哩二一鎮にあり

延長六〇〇呎

同 遼浴鐵道橋梁 驛を距る七哩三八鎮にあり

延長一〇〇呎

定州驛

(從龍山二三八哩五八鎮)

定州郡西部面に在り一新安と稱す  
地勢山丘多し戸數約二百五十城廓を  
繞すに周圍一里半高さ一丈五尺の石  
壁を以てす定州以北線路に沿へる丘  
阜脈には奇岩多し昔時は北韓有數の  
都會なりしも日清の役人家悉く兵火  
に罹り昨今漸く恢復したるの感あり



定州延熹樓





忠魂碑

○勝地

御筆聖蹟碑 驛を距る四丁忠魂碑の左側にあり高麗恭愍王の三年崔萬生なるもの陰に元國と通じ李朝を覆さんとす太祖兵を王に請ふて精騎一千を率ひて獺川に撃破し此所に碑を建つ

兩聖紀蹟碑 (兩聖とは太祖康獻王宜祖昭敬王を云ふ) 驛を距る十五丁東門内にあり文祿の役韓軍利あらず王逃がれて定州の豪族卓龍なるものゝ家に駐蹕す干時我軍先鋒の追撃益々急にして進んで定州を侵略

す韓軍之れを獺川に拒ぐ接戦數合遂に利あらず王又兵を率ひて西に走る後年回鑾の後駐蹕亭を建つ

碑は悪文を彫み甚しく日本を嘲罵したるものあり碑材は遠く全羅の海中より採取し來る石質美麗鏡の如くなるを以て土人之を鏡石と稱す

獺川橋 驛の東方十八丁にあり獺川は源を龜城郡劔山に發し定州郡を貫流して海に注ぐ橋梁は康熙二年定州の人趙漢俊なるもの私財を投

じ石橋を架したるも今は破壊只昔影を止むるのみ

忠魂碑 驛を距る四丁南門内にあり明治三十七年五月日露の役我陸軍

加納騎兵中尉部下七名を率ひ斥候として此地に來る偶々露の先隊既に數百名西門外にあり之れと銃火を交へ奮戦激闘衆寡敵せず遂に加

納中尉以下六名此處に戦死す後定州居留民相謀り忠魂碑を建つ

孔廟並に朱熹廟 驛を距る約十五丁北門洞に在り廟宇莊嚴古雅衆人之れを尊稱せり





忠魂碑

○勝地

御筆聖蹟碑 驛を距る四丁忠魂碑の左側にあり高麗恭愍王の三年崔萬生なるもの陰に元國と通じ李朝を覆さんとす太祖兵を王に請ふて精騎一千を率ひて獺川に擊破し此所に碑を建つ

兩聖紀蹟碑 (兩聖とは太祖康獻王宜祖昭敬王を云ふ) 驛を距る十五丁東門内にあり文祿の役韓軍利あらず王逃がれて定州の豪族卓龍なるものゝ家に駐蹕す干時我軍先鋒の追擊益々急にして進んで定州を侵略

す韓軍之れを獺川に拒ぐ接戰數合遂に利あらず王又兵を率ひて西に走る後年回鑾の後駐蹕亭を建つ

碑は悪文を彫み甚しく日本を嘲罵したるものあり碑材は遠く全羅の海中より採取し來る石質美麗鏡の如くなるを以て土人之を鏡石ミタマイシ稱す

獺川橋 驛の東方十八丁にあり獺川は源を龜城郡劔山に發し定州郡を貫流して海に注ぐ橋梁は康熙二年定州の人趙漢俊なるもの私財を投じ石橋を架したるも今は破壞只昔影を止むるのみ

忠魂碑 驛を距る四丁南門内にあり明治三十七年五月日露の役我陸軍加納騎兵中尉部下七名を率ひ斥候として此地に來る偶々露の先隊既に數百名西門外にあり之れと銃火を交へ奮戰激闘衆寡敵せず遂に加納中尉以下六名此處に戰死す後定州居留民相謀り忠魂碑を建つ

孔廟並に朱熹廟 驛を距る約十五丁北門洞に在り廟宇莊嚴古雅衆人之れを尊稱せり



新安館 驛を距る七丁東門内にあり

高麗朝に係る古刹にして館内に李

朝高祖の靈を祀れり

將臺改築紀念碑 李祖純祖十一年平

壤の人洪景福なる者兵を平安道嘉

山郡多福洞より起し定州城西將臺

に據る約三ヶ月官軍柳公源なるも

の來りて之れを圍み北將臺の裏面

より穴を穿ち火藥を投じて火を放

つ臺忽ち陥る後新に將臺を築き其

落成式に望み之れを建つ

○官術學校、寺院

○郵便局 ○警察署

○財務署 ○憲兵分遣所



廟嘉朱に並廟孔

○普通學校

○耶穌教會堂

○訓練直所及刑所

○京軒冥廬

○帝釋寺

○風鳴菴

○顯帝廟

○尋常高等小學校

○日本人會事務所

○一連會支部

○深源寺

○極樂寺

○普賢庵

●旅館及料理店

玉水亭 明治館

玉龍浦川鐵道橋梁 驛を距る二八鎮にあり延長二一〇呎

鷲取川鐵道橋梁 驛を距る一哩八鎮にあり延長一二〇呎

東橋浦川鐵道橋梁 驛を距る二哩二九鎮にあり延長一五〇呎

郭山鐵道 驛を距る六哩四鎮にあり延長四六二呎

いろいろは館料理兼業 定州館同上 梅の家同上 長崎屋料理

郭山驛

(從龍山二四六哩二一鎮)



郭山郡那面にあり戸數約五百郡守所在地にして地勢丘阜多く奇岩古木散々伍々散在し頗る雅趣あり

- 郭山川鐵道橋梁 驛を距る六四銀にあり延長七二〇呎
- 五軒川鐵道橋梁 驛を距る二哩七二銀にあり延長一一〇呎
- 好里里川鐵道橋梁 驛を距る五哩五銀にあり延長一一〇呎
- 東瀬江鐵道橋梁 驛を距る五哩一七銀にあり延長六〇〇呎
- 石橋川鐵道橋梁 驛を距る六哩三銀にあり延長三六〇呎

路下驛 (從龍山二五四哩)

宜川郡古府面にあり四圍山丘を以て繞らしたる寒村の僻地なり

- 第一龍洞江鐵道橋梁 驛を距る五〇銀にあり延長一一〇呎
- 第二龍洞江鐵道橋梁 驛を距る一哩四三銀にあり延長一一〇呎
- 宜川鐵道 驛を距る四哩五九銀にあり延長一二八七呎

宜川驛 (從龍山二五九哩六二哩)

宜川郡邑内面にあり戸數五百餘日本人の居住するもの亦尠からず此地毎月陰曆三八の日定市あり商賈顧客の來集多く頗る殷振を極む耶蘇宣教師數人布教の傍ら醫を營むものありと云ふ

- 官衙
  - 郵便電信取扱所
  - 尋常高等小學校
  - 耶蘇病院
  - 巡査駐在所
  - 新興日語學校
  - 耶蘇教會堂
- 旅館
  - 大宜樓 石田館料理兼業 寶榮樓 大宮館料理兼業 京益屋 東洋館料理
  - 第一東江鐵道橋梁 驛を距る一哩三六銀にあり延長二四〇呎
  - 第二東江鐵道橋梁 驛を距る一哩六七銀にあり延長二四〇呎
  - 第三東江鐵道橋梁 驛を距る三哩一銀にあり延長四〇〇呎

東林驛 (從龍山二六六哩八哩)

宜川郡新府面清江里に在り山丘起伏の僻地なりと雖も亦風光に富む海岸甘定浦石大浦は南方一里半に在り船楫の便を有す



○勝地

清江川 驛の北方約十丁にあり水清く水勢急なり夏秋二季の好遊地にして香魚鰻鮒等の川魚多く棲息す

金山 驛の南方約三十丁にあり舊城趾にして山腹に石窟あり甲冑弓箭及刀槍等の古武器を保存す韓人の番人あり(金山楓樹花木多く幽邃閑雅にして簾間の清流掬すべし又山頂には奇岩怪石多く老松枝を交へ翠色滴るが如し)

東林鎮城趾 驛の北方約一里線路の傍らに在り今より貳百六拾餘年前清韓難を構ふるに當り林麩業なるもの此城に據り兵を練り武を講じたりと云ふ附近の人民は農業の傍ら林檎梨桃李栗等を栽培す陽春の候賞花の雅人杖を曳くもの多し

東林瀑布 城内に在り巾六尺直下三十尺奇岩怪石峭立するの間玉沫飛散し煙を生ず真に之れ消夏絶佳の地たり

●清江川●鐵道●橋● 驛を距る三〇鎮にあり延長五六〇尺

車 輦 館 (從龍山二七二哩五三鎮)

鐵山郡砧面に在り古來清國使節の送迎地として地名の依つて出する所以なり附近山嶽多し  
梨花浦は驛を距る約三里餘の海岸にして三十七八年役に於ける軍隊上陸地點として其名著はる當時梨花浦車輦館に輕便軌條を布設し専ら軍需品の輸送を務めたる所なり

○官衙

- 日語學校
- 郵便電信取扱所
- 民團役所
- 日本小學校
- 巡査派出所

●旅館 小島屋旅館

南 市 驛 (從龍山二八〇哩七八鎮)



龍川郡外上面に在り陰歷毎月五日の日市場を開く又同郡北蘆里の市場は四九の日にして共に交易殷賑を極む

○勝地

龍骨山 驛の西北一里餘に在り高さ二千五百尺餘中腹に古刹あり圓道寺と稱す全山巖石のみにして樹木なく寺門と稱する門外に蓮池あり又麓に冷泉あり風光何れも佳なり  
西林鎮古城址 鐵山郡西林面内に在り往昔金時奉なるものゝ居城なりと云ふ山徒らに秀で城古びて僅かに殘礎を餘すのみ

良策驛

(從龍山二八六哩八鎮)

龍川郡外上面に在り地勢凸凹丘阜多し

○勝地

良策館 驛の南方五丁に在り往昔清韓の使節が往來の沿道にして其當時使節の旅館に充てたる巨大なる建造物は今尙は存せり  
良策館の正面に丘陵あり滿山楓樹及躑躅を以つて蔽はれ春秋の風景最も佳なり

枇峴驛

(從龍山二九〇哩七五鎮)

義州府枇峴面に在り附近山岳を以つて蔽はれたる寒村の僻地なり

○勝地

龜嶺山 驛の東北約廿七丁に在り頗る風光に富み殊に絶頂には三十七八年日露開戦中の建設に係る砲臺あり  
龜嶺山 驛を距る二哩二六鎮にあり延長八五八町  
龜嶺山 驛を距る四哩七二鎮にあり延長一四〇町  
三橋川 鐵道橋梁 驛を距る四哩七二鎮にあり延長一四〇町

白馬驛

(從龍山二九六哩五八鎮)





鴨綠江岸那支人汲水

義州府成達面に在り四圍山岳を以って繞らしたる瘠地なり

○勝地

白馬山城 白馬山は著明の山嶺にして容姿屹然群峯に秀づ老松森々として一山を鎖す蓋し沿道稀れに見る所なり城壁は白馬山上にあり  
仁祖丙子清韓と和絶清軍來攻に際し將軍林慶業據守し奇計を以て包圍を解かしひ丁丑二月再攻を豫知し北門外にて潰

走せしめたる所とす統軍亭は當時該軍を指揮せし所なり

統軍亭 城内西北の邱上にあり鴨綠江を隔て遙かに清國九連城と對峙し滿韓を瞰制し瀝々指點し得べし風光雄大頗る士氣を養ふに足る日清及日露戰役に於て我砲兵陣地に撰定せられし所なり轉た當年我軍將士の意氣を追憶せしむ

五橋川 驛の西南を貫流し下流に至り鴨綠江に會す山紫水明眞に絶勝なり

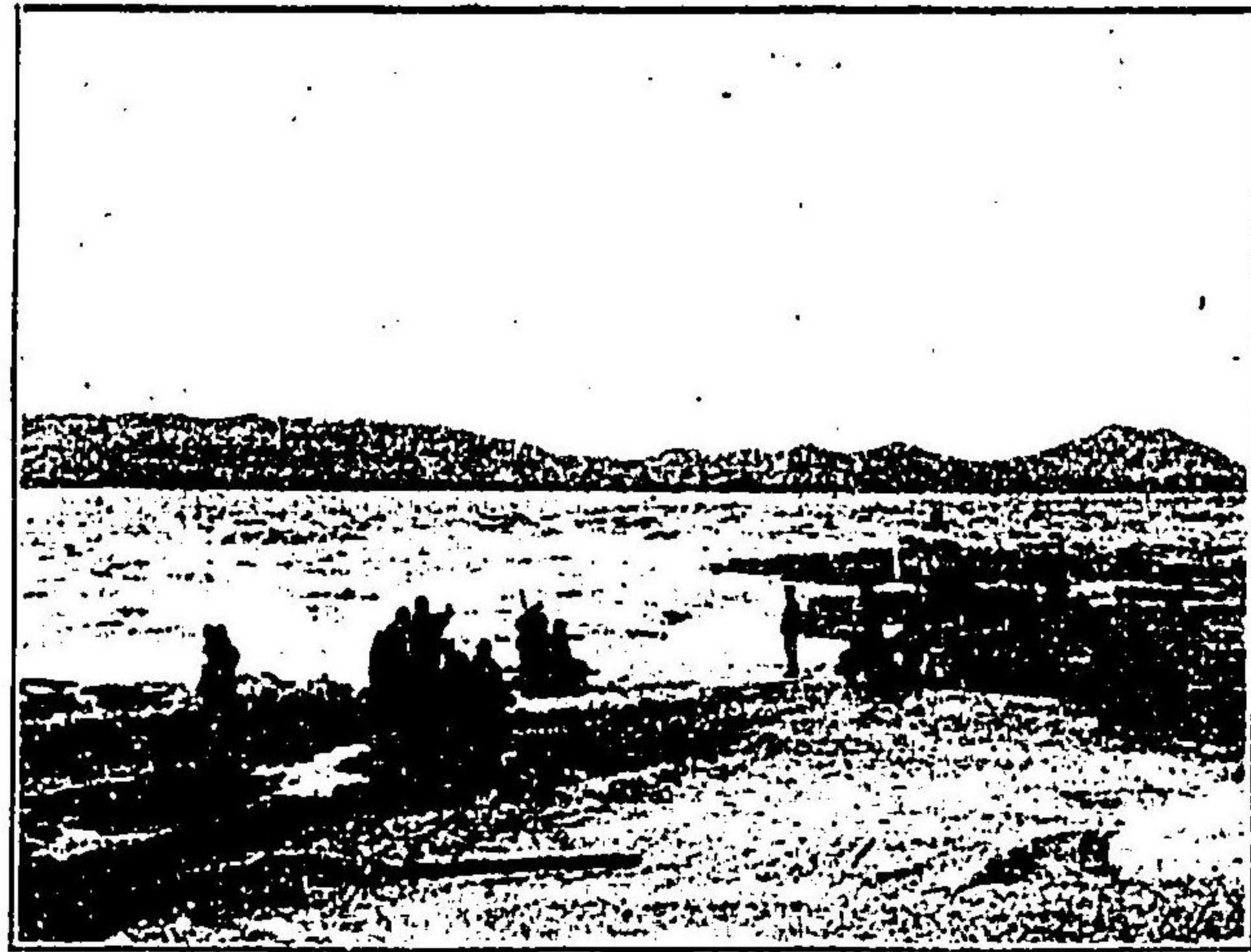
●旅館 岡村旅館 田中旅館  
●白馬山 驛道 驛を距る三哩九鎮にあり延長一七八二呎

石下驛 (從龍山三〇三哩五二鎮)



鴨綠江連結船





鴨綠江新水中橋ニテ速結

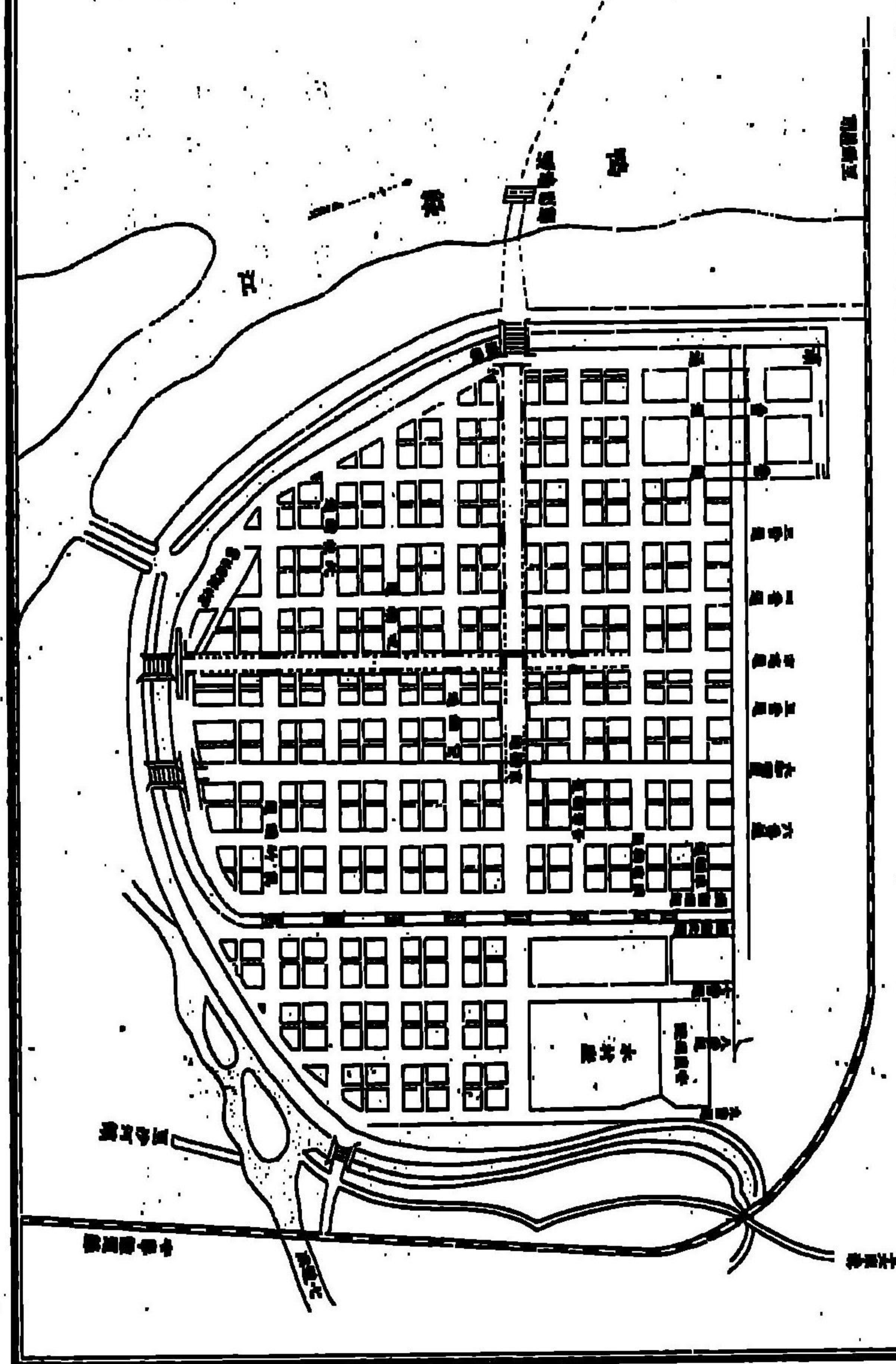
義州府津里面に在り驛を距る數丁にして第一第二第三第四の避溢橋梁あり鴨綠江邊頗る廣濶雄大なる原野にし京義鐵道の終點新義州驛を目前に控ゆ

- 第一鴨綠江避溢鐵道橋梁 驛を距る二哩四
- 五鎮にあり延長一六〇呎
- 第二鴨綠江避溢鐵道橋梁 驛を距る三哩四
- 一鎮にあり延長三二〇呎
- 第三鴨綠江避溢鐵道橋梁 驛を距る三哩七
- 八鎮にあり延長四八〇呎
- 第四鴨綠江避溢鐵道橋梁 驛を距る四哩三
- 四鎮にあり延長四八〇呎

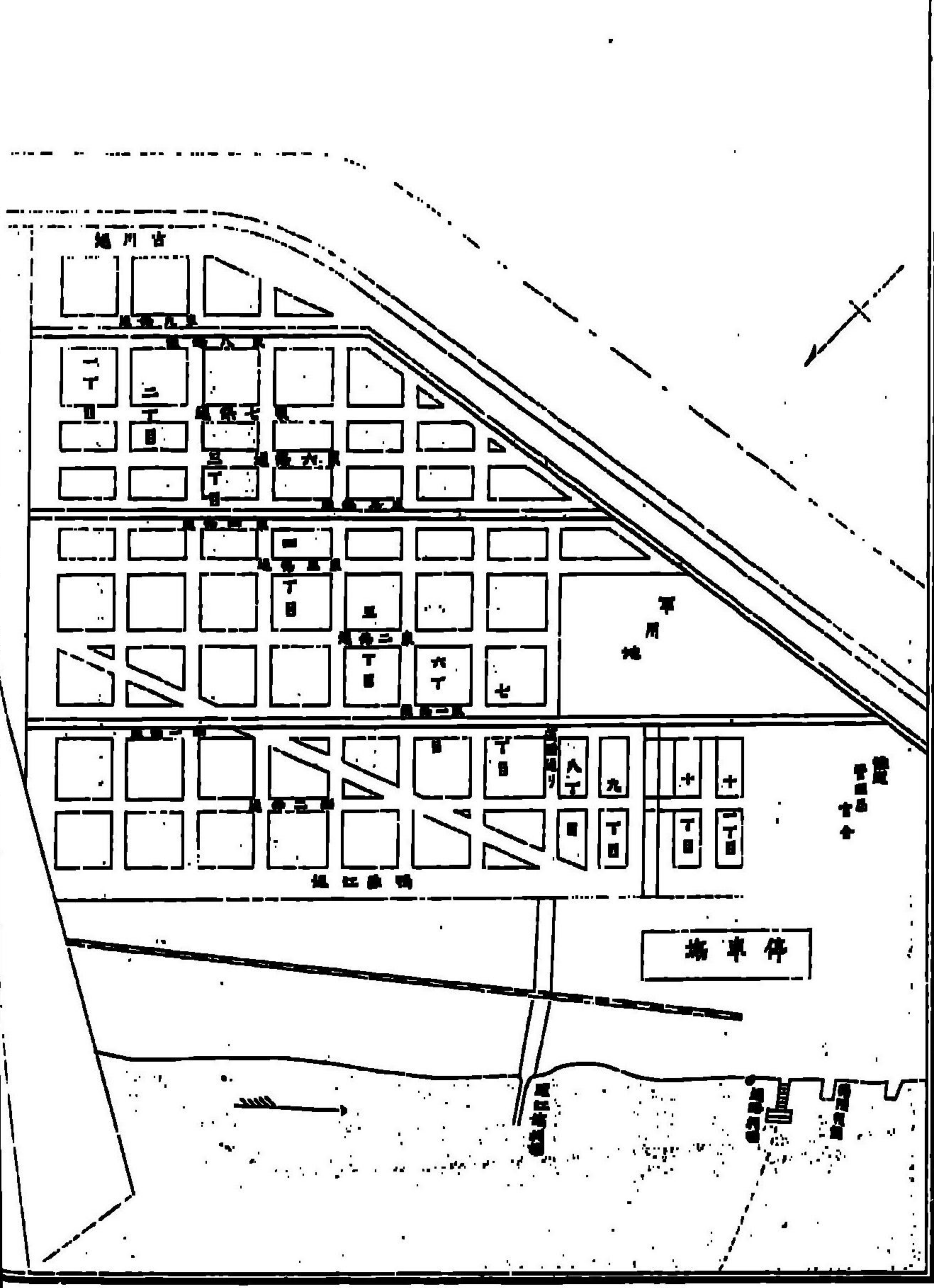
新義州驛 (從龍山三〇 九哩五八鎮)



安東縣新市街平面圖



新義州市街平面圖





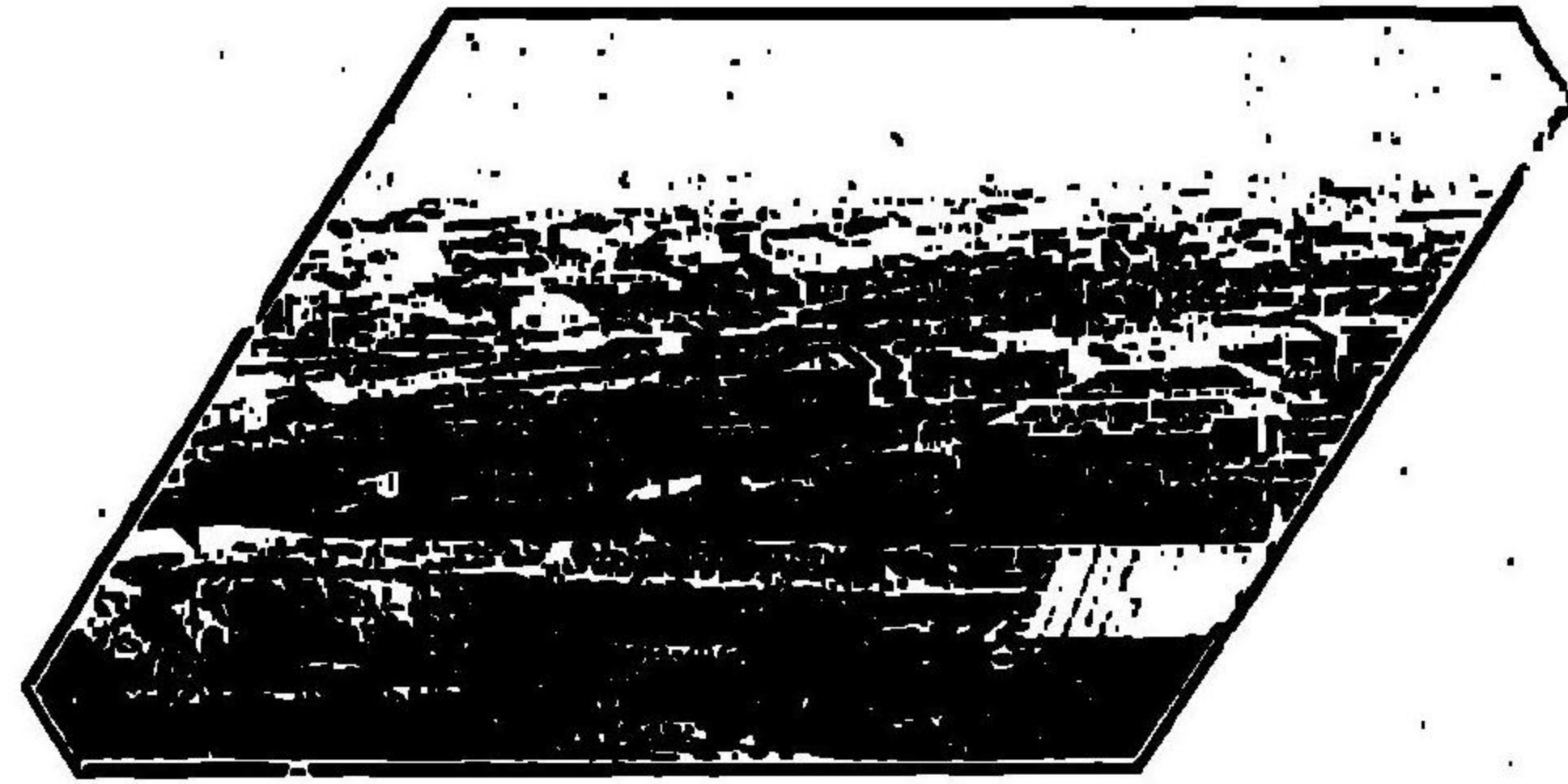
京義線の終點にして清韓の國境たる  
鴨綠江の左岸にあり清國安東縣と斜  
に相對す當局は安東縣に新義州驛の  
派出所を置き連絡船を設け對岸安東  
縣との交通を自在ならしむ此地素と  
茫々たる原野なりしも鐵道開通と共  
に本邦人の移住するもの多く今日の  
繁盛を極めたり今や戸數五百人口二  
千に近し水陸兩途の交通自在所謂四  
通八達之地たり

安東縣は日清韓貿易の要衝にして舊  
市街新市街あり新市街は即ち本邦人  
專管の居留地にして又貿易商人多く  
頗る殷賑を極む今や戸數二千七百



鴨綠江の中りよ縣東安中承緒





安東縣市街一都

口七千ありと云ふ

鴨綠江は其源を長白山脈に發して龍岩浦に至り海に入る沿岸一帶肥沃豊饒の地にして又鞍山に富む加之瀋州一帶より産出する穀類豆精柞蠶糸山繭獸皮等其重なるもの甚敷景莫大と云ふべし而して江は其滿潮に際しては千五百噸以上の船舶を碇繋することを得又支那ジャンクの往復するもの無量數万帆楫林立人をして直ちに沿岸の商業を想起せしむるの外其船體の奇形は蒙古製來の昔を偲はしむ

○勝地

義州府 上流三里鴨綠江の左岸にあり國境

の重鎮たり清國九連城と漂渺の中に相對す二十七八年及三十七八年兩戰役に日本軍の渡河點とし其名殊に高し

惠山鎮 鴨綠江の上流百五十里に在り安東縣木材廠の派山所あり同廠經營に係る木材の流下するもの日韓人共同のものを合し年々貳百萬連(一連は八尺なり)に及ぶと云ふ鴨綠江木材の名茲に依つて其一斑を窺ふを得べし

龍岩浦 鴨綠江下流六里にあり大東溝と斜めに相對す龍岩山體山を以て擁せらる本浦は露國が朝鮮經營の第一著手として江邊一帶を測量し此地を占有し物議の漸く高まるに及びて森林會社經營根據地名義の下に韓人の名義を以て土地を買收し鴨綠江木材集散の市場を創設せし所なるも遂に開港場とするの議に上るに至れり現時本邦人の移住するもの多く設備整然たり

○官衙會社

○理事廳

○日本人居留長官役所



- 尋常高等小學校
- 郵便電信局(電話の設)
- 守備隊
- 警察署
- 税關
- 木材廠附屬大林組製材所

- 旅館 岩田旅館 安東旅館 太田旅館
- 料理店 錦樓 大丸樓 手合 滿月 花月

△鐵道交通

安東縣より南滿鐵道安奉線に依り本天方面に至るを得べし同線完成後は當局線と連帶直通運輸を開くの豫定にして將來滿韓交通上の一大發展を來すべし

明治四十一年四月十日印刷  
 明治四十一年四月十三日發行

編輯者兼 統監府鐵道管理局

印刷者 右代表者 藤田謙一

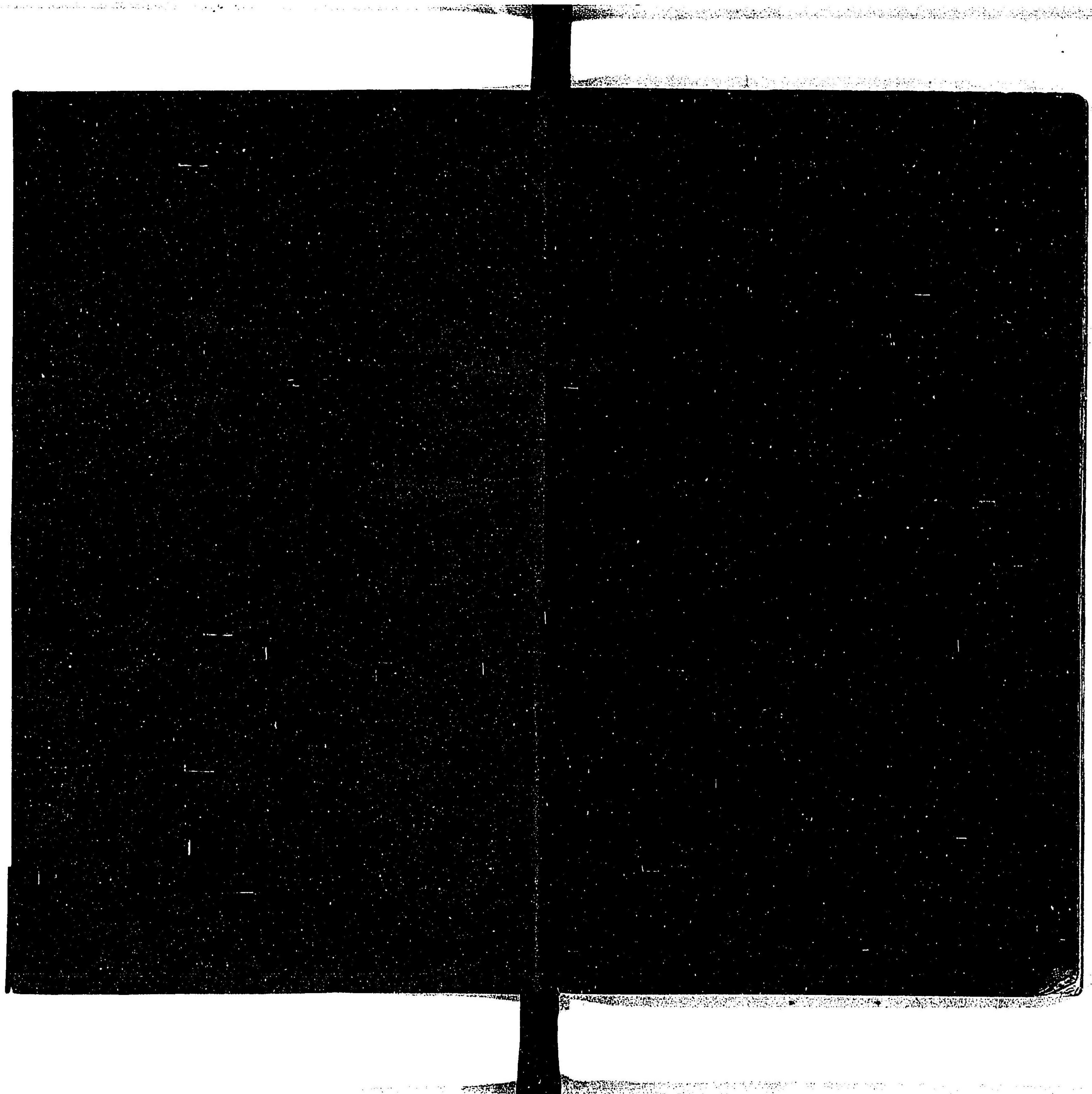
印刷所 日韓印刷株式會社

韓國京城明治町三丁目



68  
143

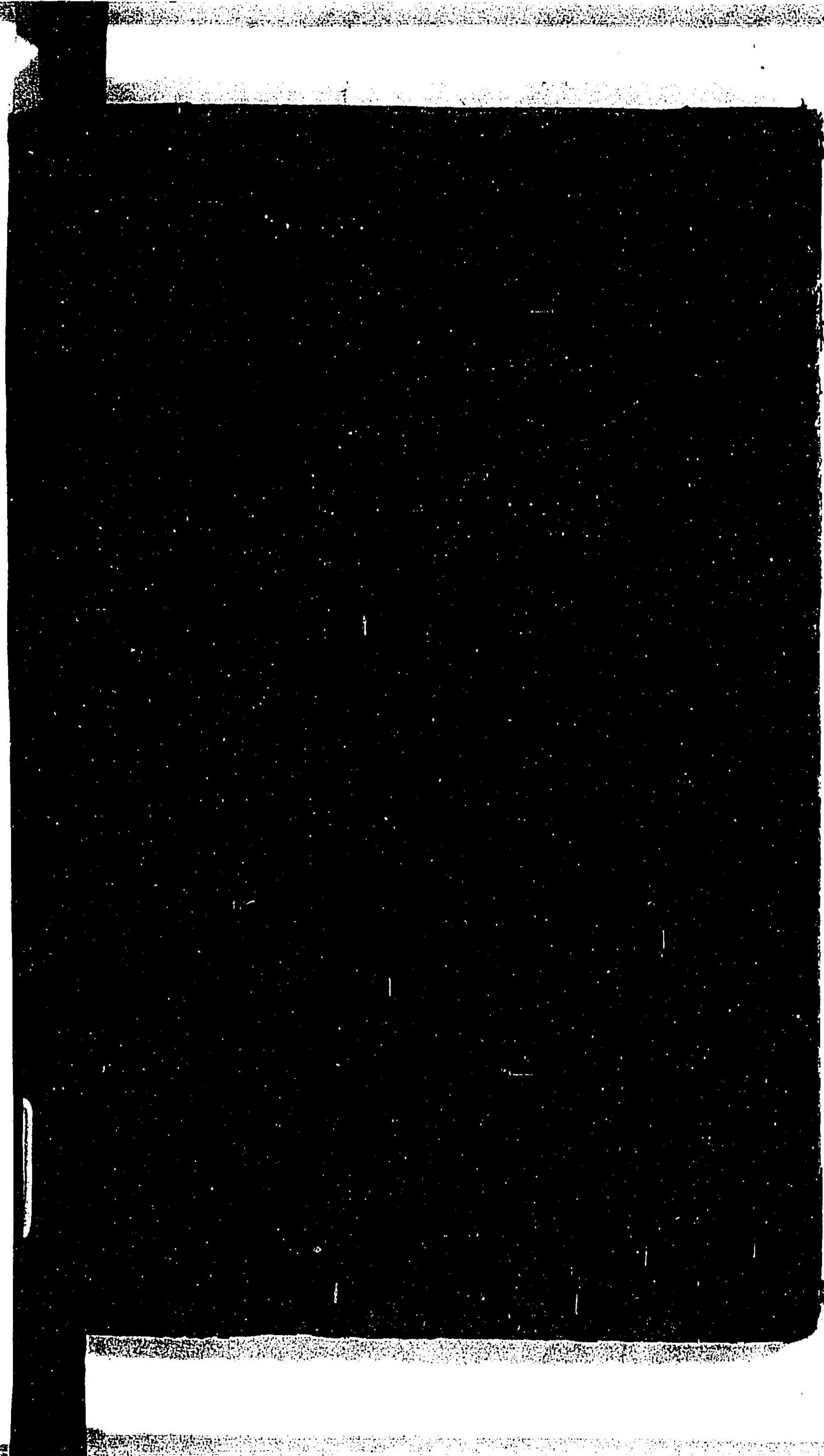






63  
743







63

143

026387-000-8

63-143

韓国鉄道線路案内

統監府鉄道管理局編

M41

ADD-0039





